

国家試験問題抜粋

16回

問題13 次の眼筋異常について A-V 型水平斜視を解答例にならって番号とともに記せ。

〔解答例： A型内斜視〕

1. 両眼上斜筋麻痺
2. 両眼下斜筋麻痺
3. 両眼上直筋麻痺
4. 両眼下直筋麻痺
5. 両眼下斜筋過動

28回 3 右への顔の回転がみられないのはどれか。

- | | |
|-----------|--------------------|
| 1. 右外直筋麻痺 | 2. 左 Duane 症候群 I 型 |
| 3. 右上直筋麻痺 | 4. 左上斜筋麻痺 |
| 5. 左内直筋麻痺 | |

28回 5 顎下げ頭位がみられるのはどれか。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 両眼眼瞼下垂 | 2. A 型内斜視 |
| 3. V 型外斜視 | 4. 交代性上斜位 |
| 5. 上斜筋麻痺 | |

29回 問題45 A 型斜視になるのはどれか。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 上直筋過動 | 2. 上斜筋過動 | 3. 下直筋過動 |
| 4. 下斜筋過動 | 5. 内直筋過動 | |
| a. 1、2 | b. 1、5 | c. 2、3 |
| d. 3、4 | e. 4、5 | |

第19問 各群に共通してみられる頭位異常をその方向も含めて番号とともに記せ。

1. 右眼・Duane症候群（II型）
左眼・外転神経麻痺
右眼・Brown症候群
2. V型外斜視
両側眼瞼下垂
下方静止位の眼位性眼振
3. 左方静止位の眼位性眼振
右眼・下直筋麻痺
右眼・Duane症状群（I型）

16 回

問題13 次の眼筋異常について A-V 型水平斜視を解答例にならって番号とともに記せ。

〔解答例: A型内斜視〕

1. 両眼上斜筋麻痺 下方で外転が不全(内転過剰) V型内斜視
2. 両眼下斜筋麻痺 上方で外転が不全(内転過剰) A型内斜視
3. 両眼上直筋麻痺 上方で内転が不全(外転過剰) V型外斜視
4. 両眼下直筋麻痺 下方で内転が不全(外転過剰) A型外斜視
5. 両眼下斜筋過動 上方で外転が過多(外転過剰) V型外斜視

28 回 右への顔の回転がみられないのはどれか。

1. 右外直筋麻痺 右
2. 左 Duane 症候群 I 型 左右
3. 右上直筋麻痺 右
4. 左上斜筋麻痺 右
5. 左内直筋麻痺 右

28 回 5 顎下げ頭位がみられるのはどれか。

1. 両眼眼瞼下垂 上
2. A型内斜視 上
3. V型外斜視 上下
4. 交代性上斜位 上
5. 上斜筋麻痺 下

29 回 問題45 A 型斜視になるのはどれか。

1. 上直筋過動 A
 2. 上斜筋過動 A
 3. 下直筋過動 V
 4. 下斜筋過動 V
 5. 内直筋過動
- a. 1、2 b. 1、5 c. 2、3 d. 3、4 e. 4、5

第19問 各群に共通してみられる頭位異常をその方向も含めて番号とともに記せ。

1. 右眼・Duane症候群(Ⅱ型) 左方向への顔の回転
左眼・外転神経麻痺 左方向への顔の回転
右眼・Brown症候群 左方向への顔の回転
2. V型外斜視 顎上げ
両側眼瞼下垂 顎上げ
下方静止位の眼位性眼振 顎上げ
3. 左方静止位の眼位性眼振 右方向への顔の回転
右眼・下直筋麻痺 右方向への顔の回転・顎下げ・右への傾げ
右眼・Duane症状群(Ⅰ型) 右方向への顔の回転